



News Letter

No.9

2003年8月1日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578



続けよう 有事法制反対闘争

伊藤彰信(レイバーネット日本代表)

5月15日の衆議院本会議において有事関連3法案が成立したとき、日本はとうとう戦争する国になってしまったのかと思ったが、それにも増してショックであったことは9割の議員が賛成したという翼賛体制の確立の姿であった。国会が延長されてイラク復興支援特別措置法案の審議が行われている。この文章が会員の皆さんに届くころには、イラク支援法案も成立しているだろうが、今後のたたかひの課題について書いてみたい。

なぜ、有事法制3法案を阻止することができなかったのだろうか。昨年と違った状況は、4野党共闘が崩れたことと北朝鮮脅威論がマスコミを賑わせたことである。イラク戦争反対運動は大きく盛り上がったのに、有事法制反対運動はその盛り上がりを引き継ぐことはできなかった。有事法制は必要とっている民主党や連合の態度は、二大政党論といってもやはり翼賛体制の中の話でしかないことがはっきりした。それは北朝鮮の脅威を煽ることによって可能だったのである。

6月10日に陸海空港湾労組20団体の集会在5千人を集めて、6月12日に平和フォーラムの集会在2,500人を集めて、それぞれ日比谷野外音楽堂で開かれた。有事法制成立後の集会として、今後のたたかひの方向性を打ち出した集会であった。

20団体は、有事法制を「完成させない」「発動させない」、発動しても「従事しない」ことを宣言した。「完成させない」とは、来年の通常国会に提出される国民保護法制、米軍支援法制の制定を許さないということである。

「従事しない」とは、労働者は戦争協力をしないということである。20団体の呼びかけで6月23日に「従事命令に反対する労組懇談会」が開かれた。20団体は運輸労働者中心の組織であるが、懇談会には医療、土木建設、マスコミなど17労組が参加した。緩やかな懇談、情報交換の場として今後継続して会合を持つことにしている。

「発動させない」とは、ひとつには武力攻撃事態状況をつくりださないことである。朝鮮半島での戦争状況をつくりださないために、朝鮮半島の平和を求める運動を強めなくてはならない。特に朝鮮半島の民族統一を求める韓国労働者との連帯は重要になるだろう。もうひとつは、国が有事法制を発動しようとしても地方自治体が従わない状況をつくりだすことである。有事法制も個別法に過ぎない。住民の生命、財産を守る地方自治法と矛盾する場面はでるのである。たとえば、自治体施設の軍事利用に反対する議会決議など、事実上、有事法制が発動されないようにすることを研究していかなければならな



イラク特措法反対! 自衛隊を戦場に送るな! 7・21 緊急デモ (写真提供: Mkimpo Kid)

い。平和フォーラムは6月10日の集会で日韓連帯を強く押し出したし、6月13日から16日まで、韓国に40名の代表団を派遣し、米軍の女子中学生轢殺1周年抗議集会や南北共同宣言3周年の行動に参加している。また、6月28日、29日には1千人を集めて非核平和条約を考える全国交流集会を神戸で開催している。

レイバーネットはこれら有事法制成立後の運動を十分追いきれていないが、すでに取り組みははじまっている。

さて、イラク戦争の根拠としてあげられた大量破壊兵器はいまだ発見されていない。アメリカやイギリスでは政府説明の根拠が希薄であったことが明らかになってきた。日本のマスコミはイラクが大量破壊兵器を持っているかのごとき報道を続けてきたが、大本営発表を報道し続けた反省はどこに行ったのだろうか。レイバーネットはマスコミの報道姿勢に批判をなげかけながら、平和のために役立つ情報を伝えていきたい。

8月例会のご案内

夏の例会は納涼交流企画
国際連帯を語りあい食べて飲みましょう!

いただきます)。

労基法大改悪NO! とインターネット ネットワーク型に変わる労働運動のスタイル

高須 裕彦 (全国一般東京南部・有期雇用労働者ネットワーク)

労基法改悪法案は、衆議院段階で政府原案に若干の修正を受け、6月27日、参議院本会議で可決・成立した。その改悪の内容と課題は、すでに別稿(「改悪される労働基準法 今後の課題は何か」『労働情報』2003年7月1日626号)で詳しく書いたのでそちらを参考いただくと、ここでは、インターネットの活用について一言触れたい。

98年の労基法改悪反対闘争と対比すると、政府・国会の情報公開や労働運動におけるインターネット活用の拡がり方は歴然としている。

情報公開の面では、厚生労働省審議会や国会議事録がホームページで公開されていること、特に国会審議については、インターネットTV中継(生中継・録画も)を通じて見る事ができるなど、5年前とは格段の違いだ。議事録が若干のタイムラグを我慢すれば、いつでも入手が可能だという点は大切であろう。

他方、運動体内部での活用はどうだったろうか。私が事務局を勤めた「労基法大改悪NO! 2003年春の共同行動」で、ホームページ(http://www.5a.biglobe.ne.jp/~nugw_ts/)をつくり、レイバーネットや他のメーリングリストでも適宜最新情報を流した。時間的制約から情報の質の面では必ずしも十分ではなかったが、審議会や国会の動きや対する行動案内などをオンタイムで流せた。また、レイバーネットのホームページへも掲載していただいた。情報発信のコストと手間から言えば、インターネットほど便利なメディアはないだろう。

しかし、これらの情報発信は一方通行であり、インターネットのメリットである双方向性や多様なネットワークを活用することは十分にできなかった。



首切り自由は許さない! 実行委員会」が主催した7月14日昼の最高裁包囲デモには、国労闘争団を先頭に27争議団・5市民団体の合計500人が集まり、長い隊列が最高裁を包んだ。(「がんばれ国労闘争団」HPより)

メーリングリスト上で議論したり、ホームページ上で労基法改悪反対の意見集約や署名集めをやってみようとのアイデアも出てきたが、結局、準備不足で実現できなかった。

労働運動のスタイルが旧来の上意下達型、動員指令的なあり方からネットワーク型に変わりつつあるし、変えなくてはならない時に、その道具としてピッタリなインターネットの良さを十分に活用できなかったのは、重要な反省点。今後、活用方法を探り活かしていきたい。

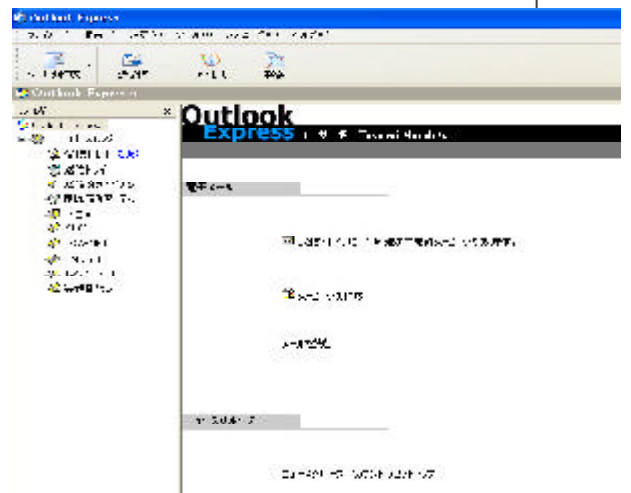
インターネット・基本の基本(その1)

メールはテキスト形式で

インターネットで何より一番使うのがメールだ。メールのやりとりさえうまくいけば、ほとんどOKなのだ。そこで問題になるのがメールの送信形式。「テキスト形式」というのが、万国共通語にあたるもので、これなら相手がどんな古いマシンでも違うメーカーでもOKだ。「テキスト形式」とは文章だけで、図とか写真とか罫線が入っていない一番シンプルなもの。一方、「html形式」というホームページのように文字に色がついたり太くしたりしてレイアウト付で送れる形式がある。これは相手が同じ通信ソフトを使っていれば、問題ないが、受け手のソフトが違くと文字化けしたり、読めなくなってしまう。だから、他人にメールを送るときは「テキスト形式」を使うのが基本だ。とくに「メーリングリスト」というたくさんの機種の人々が参加しているところでは、「テキスト形式」が原則。通常「メーリングリスト」ではそれ以外の形式で送られてきたメールは受け付けない

いように設定している(レイバーネットもそう)。「添付ファイル」も受け付けていない。メーリングリストに投稿がうまくできないという方は、そのへんをチェックしてみよう。

なお一番使われているマイクロソフト社の「アウトルック」は送信形式の設定が最初から「テキスト」でなく「html」になっている(最近のバージョンから修正したとも聞いているが)ため、トラブルが多い。設定の変更は「ツール オプション 送信」で出来る。(松原)

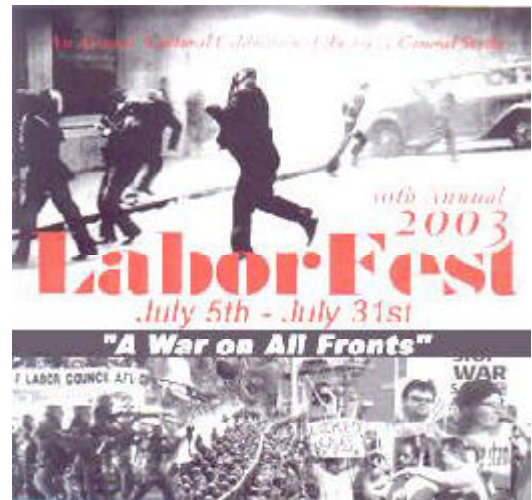


10回目を迎えた米レイバーフェスト

10回目を迎えた今年のレイバーフェストは日本から田中哲朗さんや動労千葉の川崎さん、山本さん達も参加されて、7月5日から31日まで毎日大変盛りだくさんのイベントになりました。今年は劇を週末に3週間にわたって上演したことにより、他のイベントが普通の週日に廻った打撃も多少ありましたが、全体から見て、毎年イベントの知名度やサポートは増えたと思います。

田中さんの歌を聞いたアメリカ人は、22年間もの間、抗議の歌を歌いつづけていること、それに加えて、国労闘争団の長い闘いを「人らしく生きよう」に見てアメリカ人には無い辛抱強く、また、根気の良い闘いぶりに皆、ビックリしていました。動労千葉の人達も連日いろいろな会合に参加されて、終わりの際には執行委員の川崎さんは英語で声明を読まれて大変な拍手でした。特にサンフランシスコの労働中央委員会では、国労闘争団の1047人へのサポートを訴えてそこに集まったいろいろの組合の代表から全員一致でサポートの決議案を皆立ち上がったの拍手で迎えられました。

レイバーフェストの経費はこれまでパンフレットに載せる組合からの広告と会場での入場料でまかなくなってきて、何時もお金には汲々ですが、今年は



ひょっとして市から多少の補助金ができるかもしれませんが。(これは8月にならないとわかりませんが)もしでたら、来年はニューヨークから「Labor On Broadway」というミュージカルを呼ぼうかという案も出ています。とにかく、今日は7月24日であと1週間程スケジュールが残っていますので毎日忙しい日を送っています。

サンフランシスコ・鳥居和美 (7/24)

サンフランシスコで歌ってきた

- 田中哲朗 -

沖電気で解雇され闘いを続けている田中哲朗さんは、7月にサンフランシスコで開催された「レイバーフェスト」に参加し、コンサートを行ってきた。以下は、田中さんの話をまとめたものである。(編集部)

サンフランシスコは寒いのでまずビックリした。地形の関係らしく、初夏なのにダウンジャケットが必要くらい寒い。私が行ったのは、7月5日から12日でその間に3回歌う機会を得た。最初は45分、あとは20分ずつで、各回の参加者は50人前後だった。参加者の年代は高かったが、若い人もいた。歌はすべて英語でうたったが、最後の時だけ「人らしく」を日本語を交えて歌ったら、これが案外評判がよかった。次回海外でやるときの参考になった。

3回目の時は、「人らしく生きよう - 国労冬物語」の映画上映と動労千葉の人のトークもあった。その時の質疑では「国鉄分割・民営化の時に自殺者がたくさん出たことに驚いた。それは何故なのか」という質問があった。終わったあとに「交流会」をする習慣がないようで、歌の反応など詳しく聞く機会がなかったのは残念だったが、コンサートが終わった時に握手を求めてくる人がたくさんいた。またある若い女性は「日本の国や企業の現状をきょう初めて知った」と言っていた。私が「日本の憲法はアメリカ

力がつくったんだよ」と言うとそれも知らないというのには驚いた。

レイバーフェストの他のプログラムでは、ホテルのストライキを描いた古い映画や詩の朗読会などに参加したが、詩の朗読会は街の本屋の2階が会場だった。サンフラン



シスコは革新的な街だと聞いていたが、「ブッシュはコーランのないオサマビンラディンだ」と悪口を平気で言っている人もいて楽しかった。

印象的だったのは、日本では質疑といっても手を挙げる人が少ないが、サンフランシスコでは多くの人々がどんどん手を挙げる。このへんが「もの言わぬ日本人」との大きな違いだろう。また、少数派の人が頑張っていて、大きい連帯を模索しながら苦勞していることを感じた。

もうひとつ。市民の放送局が全米にあり、それが9.11以降弾圧の対象になっている、日本にはない運動だなと思った。

レイバーフェスタ2003 11月8日(土) 開催へ向けてGO!

映像や音楽を通して「労働」「社会」「生活」を考えてみようという、はたらくみんなが主体の文化イベント「レイバーフェスタ」を【労働スクエア東京ホール】にて今年も開催します。今回はアカデミー賞受賞式でブッシュ大統領を批判し一躍有名になったアメリカのジャーナリスト、マイケル・ムーア監督作品『THE BIG ONE』(1997年・90分)等を上映する方向で準備を進めています。



マイケル・ムーア氏は、自身の生まれ故郷・フリントでのゼネラルモーターズ社工場閉鎖の様子を描いたドキュメンタリー作品『ロジャー&ミー』(こちらもよい作品)で失業問題を取り上げるなど、アメリカの労働問題にも強くアプローチして来ました。『THE BIG ONE』では全米の資本家が利益を得てい

るにも関わらず労働者を不当に解雇していると強く抗議。お得意のジョークを駆使した皮肉たっぷりの企業批判は間違えなく笑えます。

そんなマイケル・ムーア氏に来日を打診してみたところ、ムーア氏側より可能性を示唆するご返事が。もしかするとムーア氏がレイバーフェスタをアポなし逆取材?などという可能性も。

また、韓国の若手民衆歌謡グループ「ZEN」も来日を希望、レイバーフェスタは国境を越えて展開中。もちろん、昨年好評だった「3分間ビデオ」も公募して上映。また、新たに音楽やパフォーマンスを5分間で演じて頂く「5分間パフォーマンス」やレイバーフェスタの歌を公募するなどの新しい動きも。

今後、出演者との交渉次第で何が起きるかわからないレイバーフェスタ。しかし、今年のフェスタは間違いなく「笑える」でしょう。皆様のご参加とご賛同をお待ちします。

問い合わせ先:

レイバーフェスタ2003実行委員会

TEL 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

メール festa2003-staff@freeml.com

ホームページ <http://www.pmn-net.jp/laborfesta/>

右図はDOG EAT DOG FILMSのトレードマーク

DOG EAT DOG FILMS は、マイケル・ムーア氏の映画製作会社です。

このイラストの右側の大きい表情の険しい犬(権力側でしょうか)を左側の小さなかわいい犬(民衆側)が噛みついて食べてしまう(笑)というすごいイラストです。DOG EAT DOG FILMS のウェブサイトのトップページには、小さな犬が大きな犬を食べてしまう動くイラストもあります。

<http://www.dogeatdogfilms.com/middlepage.html>



(なお、権力側を「右」に民衆側を「左」に描いていることに意味があるのかどうかは不明です。笑)

河添 誠

新年度会費の納入をお願いします

レイバーネット日本は、個人を単位とする会員制度で運営されています。会員には、次のような特典があります。

- * 会員メーリングリストへの参加
- * レイバーネット日本のウェブサイトへの記事や情報の編集・投稿が可能
- * レイバーネット日本サイト内に自分のページを持てる
- * レイバーネット日本主催の研究会、講習会などのイベントへの優先参加
- * その他

入会をご希望の方は、下記の入力項目の事項を入力フォームか電子メールで送信(注意)するか、郵送、ファクスで下記の宛先にお送りください。年会費は3000円です。年会費は別途郵便振替でお支払いください。

年会費 3,000円
郵便振替 00150-2-607244
レイバーネット日本
郵送宛先
〒173-0036 東京都板橋区
向原2-22-17-403
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス
apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8590
ファクス 03-3530-8578



(本号のすべてのイラスト: 広浜綾子)